



日本海

日々の様子は学校
ホームページから！

「藤塚小ブログ」は連日更新中！



どの子どもも、藤塚小学校で過ごす日々 充実感を感じられるように…

校長 山田 耕世

4月の学校便りでもお伝えしましたが、藤塚小学校では、今年度、「違いを認め合い、共に生きようとする子どもの姿」「藤塚小学校で過ごす日々で充実感を感じられる子どもの姿」を目指しています。

1つめの「違いを認め合い、共に生きようとする子どもの姿」に関わって、これからの社会では、自分と違うからといって排除したり差別したりするのではなく、違いを認め合いながら創り出していく力が一層求められています。この力を育むために、昨年度に引き続き、「3つのキラリ（自分自身のキラリ、友達のキラリ、学校や地域のキラリ）」を見付けていく活動をとおしながら、人とかかわる場面を大切にしてきました。

2つめの「藤塚小学校で過ごす日々で充実感を感じられる子どもの姿」に関わって、3月末で残念ながら藤塚小学校は閉校になってしまいます。そのため、「今まで以上に友だちや先生方と、心に残る思い出をたくさんつくっていきましょう！」と、3学期の始業式で子どもたちに説明しました。

3学期は、「藤塚小学校で過ごす日々で充実感を感じられる子どもの姿」を特に大切にしていきます。3学期の授業日数は「48日」です。その期間に、全校に関わっては、書き初め大会や縄跳び記録会、6年生ありがとう集会、卒業式などがあります。また、藤塚浜大漁太鼓の第45代から第46代への引継ぎもあります。

日々の活動においても3学期ですべて終了となります。「れんぎょうパトロール隊」の皆様に見守られながら一緒に登下校しているメンバー。学習や給食、休み時間などを一緒に過ごしている学級のメンバー。清掃時間や「なかよしタイム」で一緒に活動している「なかよし班」のメンバー。委員会で一緒に活動している5・6年生のメンバー。太鼓や篠笛を教えたり習ったりしているメンバー…など。様々な場面で一緒に過ごしてきたメンバーとの活動も最後となります。

どの子どもも一日一日を大切に過ごしていけるように、保護者や地域の皆様と協力しながら努めていきたいと考えております。3学期もどうぞよろしくお願いいたします。



「れんぎょうパトロール隊」の皆様に見守られて登下校する子どもたち



太鼓や篠笛を教えたり習ったりしている子どもたち



学級のメンバーで長縄跳びをしている子どもたち

日々の何気ない活動や時間が「かけがえのないもの」になっています。